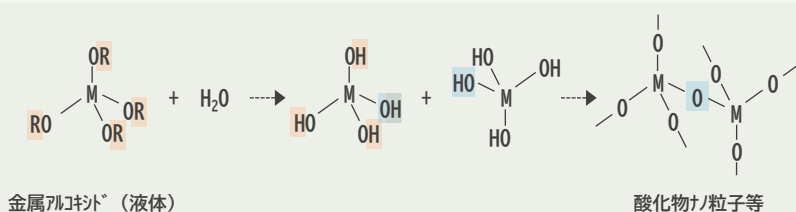


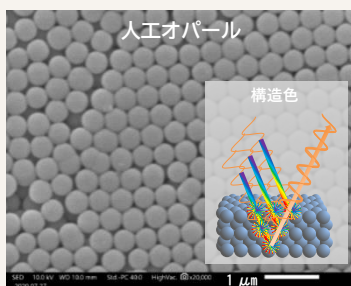
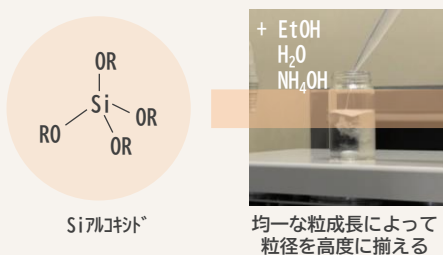
概要

アルコキシド法による液相反応では、ピーカーやスターラー等の安くて汎用的な実験器具のみを使って粒子を作製できる。高価な設備が不要な点においてKISTECが開発した技術シーズを企業に技術移転しやすい。

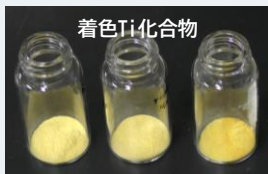
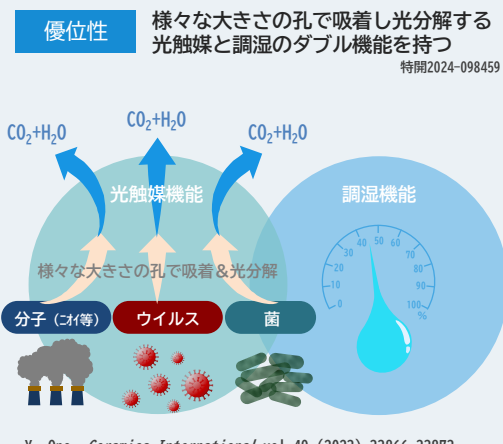
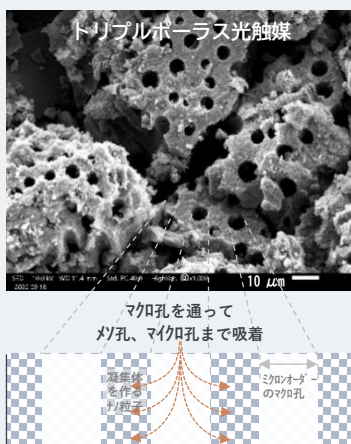
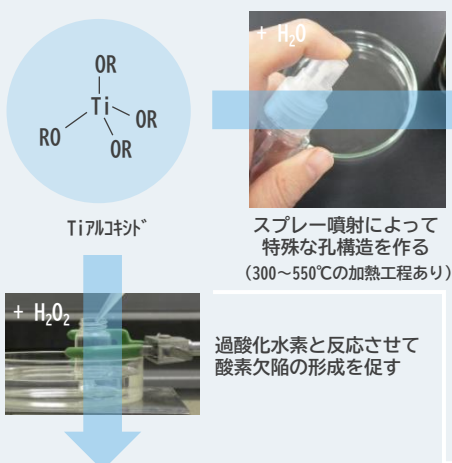
本発表では、アルコキシド法を利用した材料開発の事例として、Siアルコキシドを使った事例を1つとTiアルコキシドを使った事例を2つ紹介する。



研究成果

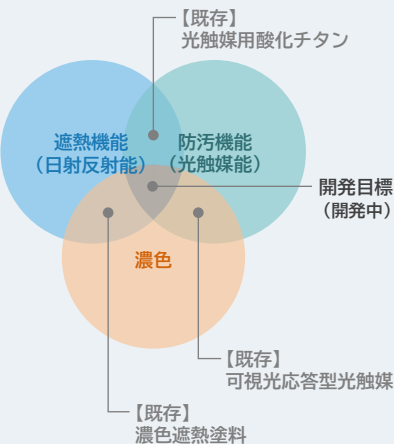
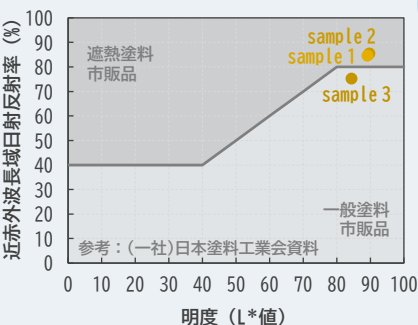


Y. Ono, *Journal of Asian Ceramic Societies* vol.8 (2020) 578-585.



優位性

遮熱・防汚・濃色の3要素を併せ持つ



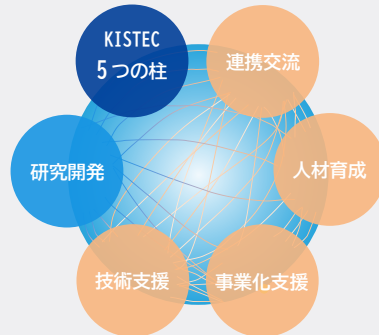
成果の展開

研究成果を軸にKISTECの役割を果たす

これまでの取組

- ・シーズ提案型試験の実施※
- ・事業化に向けたサンプル提供（有償、要契約）※
- ・科学教室の開催、学生向け科学雑誌での取材記事掲載
- ・美術大学との共同研究、学芸大学との共同研究

※技術移転先企業を募集中



問い合わせ先

機械・材料技術部 ナノ材料グループ

TEL 046-236-1500